

豊岡で 体験する

文化芸術に興味はあっても「演劇や楽器の演奏って、難しそう」と思いませんか。

また、そもそも楽器や道具を持っていない、知識がない、年齢が高い、などの理由で挑戦を諦めていませんか。

豊岡では皆さんの興味やレベルに応じてさまざまなジャンルの講座やワークショップが実施されています。

初めての方から、レベルアップを目指す方まで、自分に合ったものに参加し、アートな体験を楽しみましょう。

豊岡で「体験する」皆さんと、体験の機会を提供する(一社)ダンストークの千代その子さんの声をお届けします。

アートスクール
「地域文化を支える人材養成プログラム」



9月13～17日、舞台の演出・音響・照明の各分野で活躍する講師を迎え、舞台の制作を基礎から総合的に学べる講座を開催しました。4度目の今回には、舞台に関わる仕事をする方、将来舞台の仕事に就きたい方など28人が受講し、最終日に、豊岡市民プラザで、演劇公演『かつて、あった』を上演しました。

舞台は好きですが、人前に出るのは苦手でした。でも、照明を担うことで、みんなが舞台を創る面白さを知りました。照明の技術を身に付け、何年後には、アートのまち豊岡に帰ってきたいです。



市外の舞台照明の会社に就職予定。大学4年生の井崎佑香さん

地元の劇団で
役者として活動して
2年目になる
奥村佳子さん



人前で話すことが苦手で、克服するために舞台に立とうと思いましたが。演出家にセリフを体に落とし込む方法を教えてもらい納得。舞台を通していろいろな年代の人と触れ合えて、刺激になります。



①作曲・音楽サークル「もくもくアンサンブル」(城崎国際アートセンター)②羊のマスコットづくり(日本・モンゴル民族博物館)③舞台技術スタッフ養成講座(豊岡市民プラザ)④植村語録に絵をつけてみよう(植村直己冒険館)⑤仕舞体験教室(市民会館)

先生が楽しく教えてくれます。最初は楽譜も読めませんでした。今では高い音や低い音も出せるようになり、みんなと音が合ったときは気持ち良いです。3月の成果発表に向けて頑張るぞ！



トランペットを始めて2年目。小学5年生の西浦航生君



音楽レクチャー プロの演奏家が直接手を取って指導

昨年度から月に1回、市民会館で、合唱・金管楽器・打楽器・バイオリンの基礎から演奏の楽しさまで、プロの演奏家が直接手を取って指導しています。楽器を持っていない方も参加できます。2019年3月24日には1年間の集大成として成果発表会を予定しています。

豊岡で
デキル！

誰もがダンスに触れられる場所を作りたい



こどもコンテンポラリー



おとなのはじめてバレエ

「年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、誰もがダンスに触れることのできる場所を作りたい」と思い、城崎でダンストークを設立しました。

城崎は街全体がまるで舞台。見られることを常に意識している旅館やお店の方々の身体性は、まるでダンサーのようだと感じます。

毎月開催のオープンダンスクラスは、市民や観光客らが出会い、心と身体が癒される場所。「異なる文化・価値観の人に触れ、交わるようになる」など、子どもたちの変化を実感します。また、城崎国際アートセンターが会場なので、世界で活躍するアーティストを肌で感じられます。

将来、子どものダンスカンパニーを立ち上げ、ダンスの可能性で子どもの「できた！」を応援したいです。

滋賀県出身。英国留学・龍谷大学大学院修士課程修了後、城崎・京都を中心にダンス・ファシリテーターとして活動。2018年、一般社団法人ダンストークを設立

ダンストーク
ちしろ
代表 千代その子さん